

県道渋川下新田線（小野子工区）線形改良事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

急カーブを
ゆるくします

地元の
声

- ・「道の駅中山盆地」へ行く際に利用するので、急カーブを無くしてほしいです。（地元住民）
- ・日当たりが悪く冬場は路面が凍結するため、線形が改善されることを期待します。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市小野子
- 事業内容：線形改良 延長 1.1km 道路幅 7.5m
- 事業期間：平成25年度～

- 現在の交通量：3,643台/日(自動車)
(R3年度) 18人/12時間(歩行者)
1台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 急カーブが連続し、とくに冬場では路面が凍結するため、危険な状況です。



事業前の状況

事業後

- ◆ 急カーブが改善され、安全に走行できるようになります。



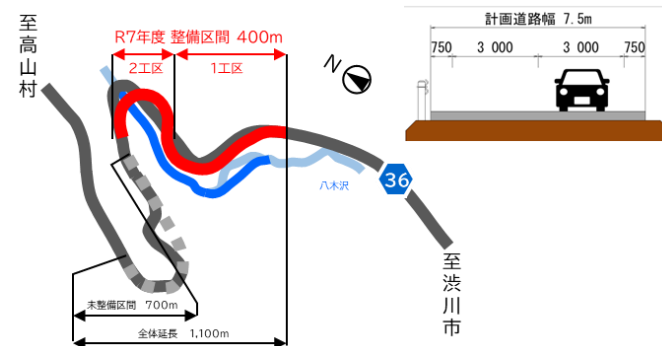
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
急カーブ数	2箇所

実施後(目標)
0箇所



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始●

● 事業完了